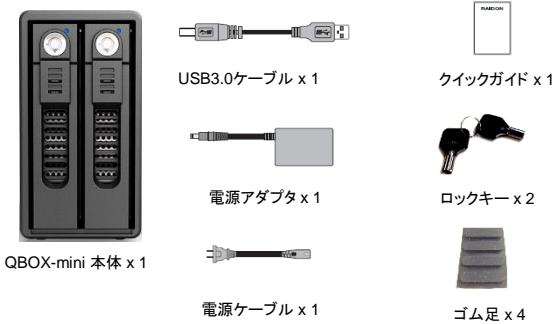


Newtech QBOX-mini クイックガイド (USB-HDD 2Bay Desktop)

1. 梱包品一覧 (初めにご確認ください)

ご利用にあたり、製品梱包品をご確認ください。



品名	個数
QBOX-mini 本体	1
USB3.0ケーブル(1m)	1
電源アダプタ	1
電源ケーブル	1
クイックガイド	1
鍵(ロックキー)	2
ゴム足	4

2. 製品の仕様

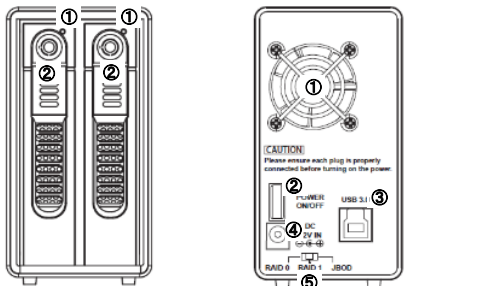
モデル	QBOX-mini
型番*	NQBTN002T02SARD (2TB HDDモデル)
形状	デスクトップ2Bay
RAIDモード	RAID 1 (出荷時設定) / RAID 0 / JBOD (スライドスイッチで変更)
ホストインターフェース	USB3.0 UASP, USB2.0
ディスクインターフェース	SATA III
HDD台数	最大2台
予備ディスク型番*	NQBT-2T (2TB 7,200回転)
HDDトレイロック	有(ロックキー)
HDDホットスワップ	対応(RAID1)
オートリビルド	対応(RAID1)
LED	HDDステータスLED 各HDDx1(2色)
冷却ファン	4cm Fan x1
定格電源	AC 100-240V 50/60Hz
消費電力	最大時43W、運用時17W(NQBT-2T 2台搭載)
動作環境	温度5~35°C、湿度20~80%(結露なきこと)
電源スイッチ	背面(ロッカースイッチ)
外形寸法	64 (W) x 200(L) x 120 (H) mm
重量	2.2Kg (電源アダプタ含まず)
認証	CE / FCC / VCCI クラスB適合品
対応OS	Windows、Mac & Linux

* 製品型番、予備ディスク型番は P15の「8. QBOX-mini 型番一覧表」を参照してください。

1	2
3	4

3. 各部名称

ご機器の各部配置を示します。



- ① HDD1, 2 LED
- ② HDD1, 2 ロックキー付きHDDトレイ
- ① ファン
- ② 電源スイッチ
- ③ USB3.0ポート
- ④ DC12V電源プラグ接続口
- ⑤ RAIDモード設定スイッチ

4. HDD LED表示

前面 HDD1,2 LED表示によるステータスを示します。

ステータス	HDDなし	スタンバイ状態	データアクセス	HDD故障	リビルド中
RAID0	赤点灯	青点灯	青点滅	紫点灯 (赤/青点灯)	---
RAID1	赤点灯	青点灯	青点滅	紫点灯 (赤/青点灯)	リビルド元 青点滅; リビルド先 赤/青点滅
JBOD	赤点灯	青点灯	青点滅	---	---

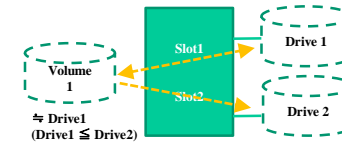
6. 初期セットアップ方法

(1) RAIDモード

利用用途に応じて、RAIDモードを決めてからセットアップを開始します。

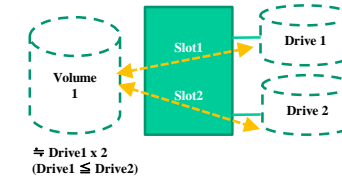
RAID1 (出荷時設定)

2台のHDDに同じデータを書き込んでデータの安全性を確保します。同じ内容を2台のHDDに書き込むため、HDDが1台壊れてもデータが損なわれません。2台のHDDに同じ内容を書き込むため、利用可能な容量は1台分になります。



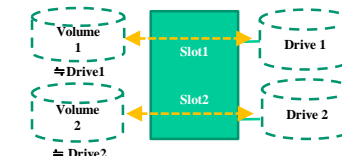
RAID0

複数のHDDに分散して読み込み/書き込みを行います。HDDを並列で動作させるため、高速な読み込みや書き込みが可能になります。どれか1つのHDDが故障するとデータがすべて失われます。同容量のHDDではすべてのHDD容量が利用可能です。



JBOD

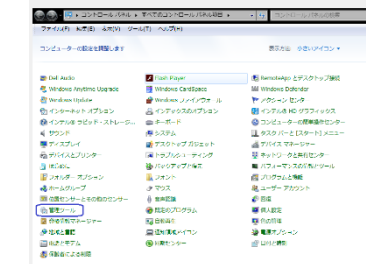
HDDを別々に認識させます。HDDが複数ある場合は、複数のボリュームに割り当てて使用することができます。HDDが壊れると対応するボリュームのデータは失われます。



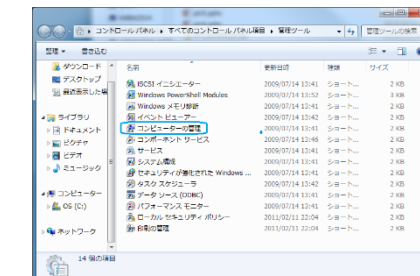
(3) パーティション作成とファイルシステム作成 (Windows7)

HDDにパーティションを分割しない設定で領域を確保する操作を説明しています。細かく分割する操作に関しては、各オペレーティングシステムのヘルプや参考書を参考にしてください。

1.【コントロールパネル】→【表示方法: 小さいアイコン】→【管理ツール】

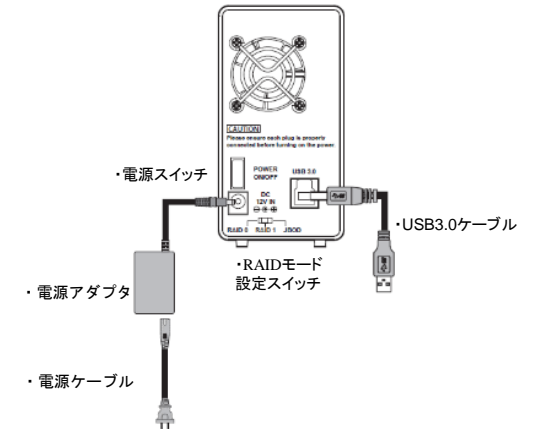


2.【管理ツール】の中の【コンピュータの管理】を開きます。※このとき【ユーザーアカウント制限】ウィンドウが表示されます。【続行】をクリックしてください。続行できない場合は、ユーザーに管理者としての権限がありません。システムの管理者にご相談ください。



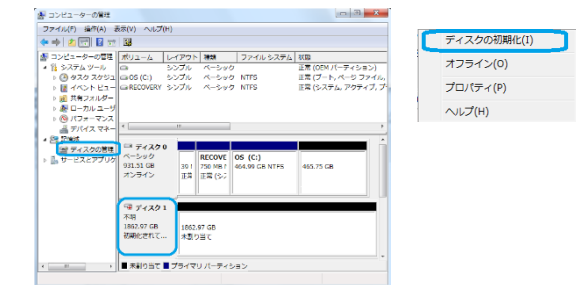
(2) 初期セットアップ

- 1.RAIDモード設定スイッチで、RAIDモード(RAID0,RAID1,JBOD)を選択します。(出荷時設定はRAID1です。)
- 2.電源アダプタと電源ケーブルを取り付けます。
- 3.USBケーブルを取り付け、PCなどに接続します。
- 4.電源ケーブルをコンセントに接続して、電源スイッチをONにします。
- 5.接続したPCから初期化を行います。Windows OSでは、“ディスクの管理”機能から、パーティション作成とファイルシステム作成を行います。

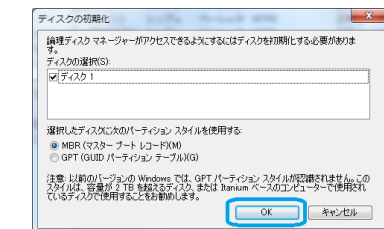


5	6
7	8

3.【コンピュータの管理】の【ディスクの管理】を選択すると、接続したディスクが【初期化されています。】と表示されています。そこを右クリックして表示されるポップアップメニューから【ディスクの初期化】を選択します。



4.【ディスクの初期化】ウィンドウが表示されます。先ほど選択したディスク間違いないかを確認して【OK】をクリックします。※パーティションスタイルについてパーティションスタイルに関しては2TB以上の容量を扱う場合以外は、MBR形式を使用することをおすすめします。

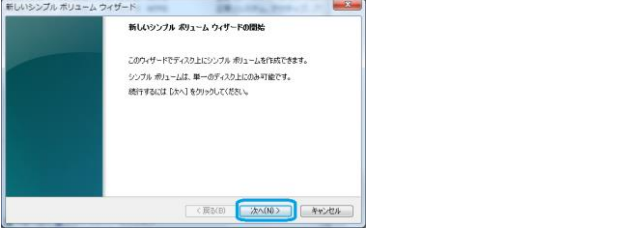


5.【ディスクの初期化】が完了するとディスクの状態が【オンライン】に変わります。この状態ではまだ使用できませんので、ボリュームを作成してフォーマットする必要があります。

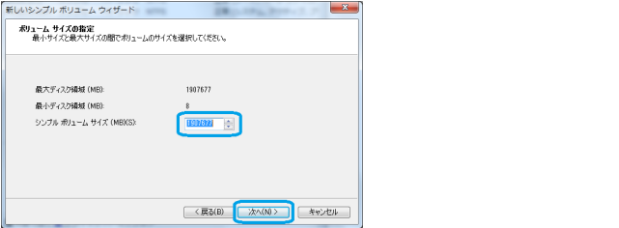
ディスク名の表示の右側の、容量が表示されているところを【右クリック】すると、ポップアップメニューが表示されますので【新しいシンプルボリューム】を選択します。



6.【新しいシンプルボリュームウィザード】が表示されます。設定する箇所はありませんので【次へ】をクリックします。



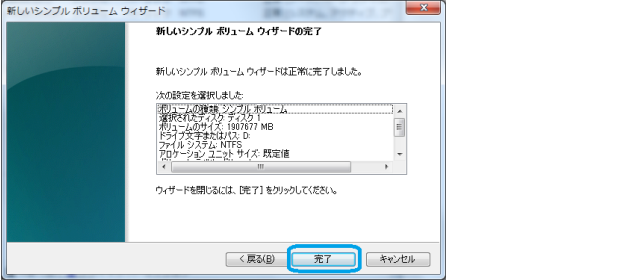
7.【ボリュームサイズの指定】が表示されます。MB(メガバイト)単位でボリュームサイズを指定します。ここで指定したサイズがパーティションサイズとなりますので、任意の数値を指定してください。特に指定しなければ最大容量で設定されます。設定したら【次へ】をクリックします。



・ファイルシステム
NTFSを選択します。他のファイルシステムは使用しないでください。
・アロケーションユニットサイズ
パーティションのアロケーションユニットサイズを指定します。特に使用するアプリケーション等の指定がない限り、規定値で問題ありません。
・ボリュームラベル
マイコンピュータ等から表示されるボリュームラベルを設定します。
・クイックフォーマット
このチェックボックスを有効にすると、フォーマットする際にクイックフォーマットでフォーマットを行います。通常のフォーマットと違い、ディスクの全領域をベリファイしませんので、時間がかからない替わりに、不良セクタ等の代替も行われません。お使いのディスクの状態に合わせて選択してください。
・ファイルとフォルダの圧縮を有効にする
このチェックボックスを有効にすると、ファイルとフォルダの圧縮が有効になります。通常よりも大きな容量を使用できるようになりますが、パフォーマンスの面では圧縮されていない状態よりも劣ります。一部のアプリケーションではこの設定が推奨されていないこともありますのでご注意ください。

設定が終わりましたら、【次へ】をクリックします。

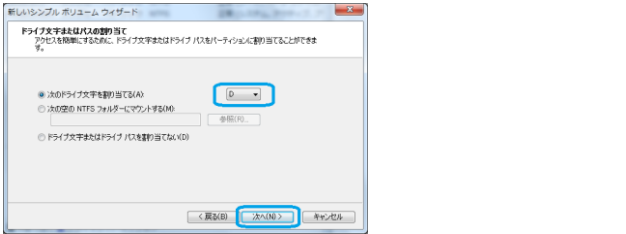
10.【新しいシンプルボリュームウィザードの完了】ウィンドウが表示されます。テキストボックスの設定を確認して【完了】をクリックするとフォーマットが開始されます。



11.これでフォーマットの作業は完了です。フォーマットが完了すると、マイコンピュータにディスクが表示され、使用可能になります。クイックフォーマットのチェックをはずした場合は、ディスクの管理の容量表示ウィンドウには、フォーマット完了までの進行状況が表示されます。

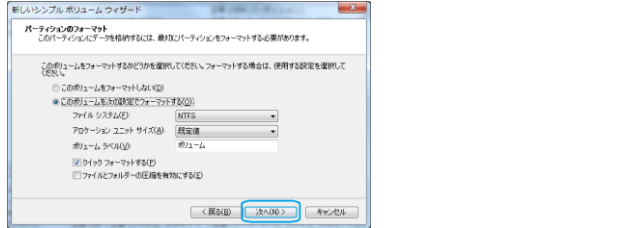


8.【ドライブ文字またはパスの割り当て】ウィンドウが表示されます。ドライブ文字は、マイコンピュータやエクスプローラで割り当てられるドライブのアルファベットです。通常、Cが起動ドライブで以降アルファベット順に割り当てられます。特に指定がなければ空いている割り当て番号のいちばん若いアルファベットが割り当てられます。



9.【次の空の NTFS フォルダにマウントする】と【ドライブ文字またはドライブパスを割り当てない】は通常使いませんので選択しないでください。こちらの機能を選択する場合は、Windowsの説明書、ヘルプ、参考書籍等をご参照ください。

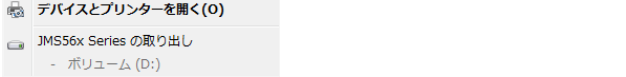
【パーティションのフォーマット】ウィンドウが表示されます。



(3) ハードウェアの取り外し

本機はUSB接続時、PC起動中にハードウェアの取り外し(PCとの接続解除)が可能です。

1.本機を接続すると、タスクトレイに【ハードウェアの取り外し】アイコンが表示されます。取り外す際は下記の【ハードウェアの取り外し】アイコン をクリックします。本機を取り外す際は、下記のような表示「JMS56x Series の取り外し」をクリックしてください。

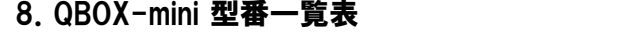


「JMS56x Series」は 本機のハードウェアの取り外し対象名です。
2.取り外し完了のメッセージが表示されれば完了です。電源を切ってください。使用予定がない場合、ケーブル類を取り外してください。

※取り外しの詳しい手順は OSにより異なりますので、お使いのWindowsの説明書、ヘルプ、参考書籍等をご参照の上、作業を行ってください。
※【ハードウェアの取り外し】の手順を経ずに本機を取り外すと、HDDのデータが破損、消失するおそれがありますので、必ず【ハードウェアの取り外し】の処理を行ってください。

RAIDモード	ハードウェアの取り外し対象名	ディスクドライブ名
RAID1	JMS56x Series	H/W RAID 1 USB Device
RAID0	JMS56x Series	H/W RAID 0 USB Device
JBOD	JMS56x Series	TOSHIBA DT01ACA200 USB Device (NQD-2Tを搭載する場合)

※ディスクドライブ名は デバイスマネージャーのディスクドライブで確認できます。



製品型番	説明
NQBTN002T02SARD	QBOX-mini 2TB HDDモデル
NQBTN003T02SARD	QBOX-mini 3TB HDDモデル
NQBTN004T02SARD	QBOX-mini 4TB HDDモデル



予備ディスク型番	説明
NQBT-2T	予備ディスク 2TB、QBOX-mini 2TB HDDモデル専用
NQBT-3T	予備ディスク 3TB、QBOX-mini 3TB HDDモデル専用
NQBT-4T	予備ディスク 4TB、QBOX-mini 4TB HDDモデル専用

(4) HDD故障時の対応例

前面 HDD1,2トレイの「LED表示」と設定している「RAIDレベル」に応じて、操作を行います。

	1台のHDDが故障した場合の操作方法
RAID1	リビルドさせることで、RAID構成を復旧させます。故障したHDDを交換します。 <p>(リビルドによる復旧操作) 故障したHDDを新しいHDDに交換すると、自動的にリビルドが開始されます。<i>機器の電源オンの状態でHDDを交換してください</i>(電源オフの状態で交換するとデータ消失の恐れがあります)。リビルドによる修復が終了するまで、電源を切らずにしてください。</p>
RAID0	全てのデータが失われます。故障したHDDを交換して、RAID構成を作り直します。 <p>(HDDの交換とRAID構成の作り直し) 「ハードウェアの取り外し」を行ってから、電源を落として、故障したHDDを取り外し、新しいHDDと交換します。一度、JBODモードで起動します。PCのディスクの管理やデバイスマネージャーから2台のディスクとして正常に認識されることを確認します。再度、「ハードウェアの取り外し」を行ってから、電源を落として、RAID0モードで起動しなおします。1つのディスクとして認識されていることを確認します。PCからパーティション作成とファイルシステム作成の操作をして利用します。</p>
JBOD	故障したHDDのデータは失われます。故障したHDDを交換します。 <p>(1台のHDDを新しいHDD交換する操作) 「ハードウェアの取り外し」を行ってから、電源を落として、故障したHDDを交換します。正常なディスクと交換したHDDが、ディスクの管理やデバイスマネージャーから、別々のディスクとして正常認識されていることを確認します。交換したHDDに対して、PCからパーティション作成とファイルシステム作成の操作をして利用します。</p>

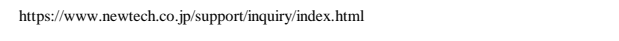
※交換の場合、必ず新品の専用予備ディスク(型番、P15に記載))を使用してください。使用されたことがあるHDDを使用しないでください、動作異常又はデータは消失します。
※2台のHDDが故障した場合は、RAIDレベルにかかわらず、全てのデータが失われます。2台のHDDを交換した後、初期セットアップを行ってください。



サポート情報
下記URLにアクセスしていただき、最新のFAQをご参照下さい。
https://www.newtech.co.jp/support/index.html



サポート窓口
FAQで解決頂けない場合、下記URLのサポート依頼フォームよりお問い合わせ下さい。



製品に関するご質問、障害に関するご連絡をいただく際は、必ず製品本体の型番、シリアル番号をご確認いただいた上、上記サポート依頼フォームにて必要事項をご入力いただき、お問い合わせをいただけますようお願いいたします。

